

ユニバーサルキャンプ開催について

ユニバーサルキャンプはダイバーシティ(Diversity=多様性)の視点に立ち、「みんなが一緒に生き活きと暮らせる社会」の実現を目指して実施する交流イベントです。私たちは豊かな自然の中でキャンプという、日常生活より少し不便な環境を味わいながら、誰もがそれぞれに出来ること、出来ないことがあることに気づきます。そしてお互いが協力し、サポートし合うという体験を通して、参加者の一人ひとりが尊厳を持つ対等な関係であることを理解します。



キャンプ運営のコンセプトとキーワード

ユニバーサル環境を推進する

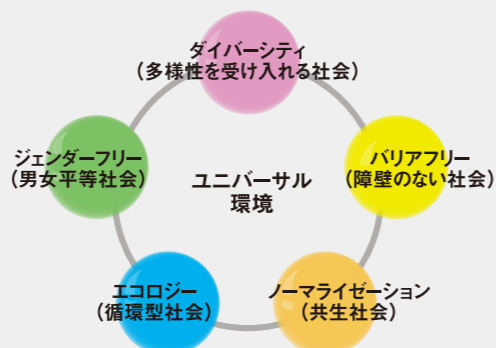
ユニバーサル環境とは高齢者や子ども、外国人、性別などさまざまな特性に関係なく、すべての人々が違いを認め合い、ともに生き活きと暮らすことができる社会環境のことです。このような社会の実現に重要なのが、ユニバーサルデザイン、ユニバーサルサービスの推進です。

エコロジーを考える

「ユニバーサルキャンプ」というユニバーサル環境の中、誰にとっても重要な課題である「エコロジー」についてみんな取り組みました。「食材を大切にし、ゴミを出さない」「リサイクル・リユースできるものを使用する」などエコロジーに配慮した行動をみんなで実践しました。

企業の未来を探る

企業の商品やショールーム、工場そして広告宣伝においても、ユニバーサルデザインはいまや欠くことのできないものになっています。UDキャンプで出会った多様な生活者と語り、行動を共にすることで得た多くの気づきや体験をぜひ企業の未来につなげてほしいと思います。



「第2回ユニバーサルキャンプ in 九州」は皆様のご協力により実現することができました。

主催:特定非営利活動法人(NPO)FUKUOKAデザインリーグ
共催:特定非営利活動法人(NPO)ユニバーサルイベント協会
国営海の中道海浜公園(夢プラン)

後援:福岡県・福岡市
協賛:有限会社 甘木白蟻

九州電力株式会社
株式会社九電工
九州旅客鉄道株式会社
株式会社きらきら
クレープランニング株式会社
コココーラウエストジャパン株式会社
西部ガス株式会社
西日本パブリック株式会社
株式会社西鉄シティホテル ソラリア西鉄ホテルレストラン部
福岡トヨペット株式会社

スタッフ:
村長:椋本 敏行
実行委員長:梅本 幸治
会計:山田 貴史
事務局:松尾 紘出子、岡 真由子

事前研修(UD研修):松尾 紘出子、奥森 由美
マイ箸・マイコップ担当:田中 秀和、下田代 晃洋
食事担当:北村 里美
ダイバーシティ担当:張 彦芳、兒島 りか
キャンドルナイト担当:馬渡 秀公
夜会担当:中牟田 麻弥

手話通訳:奥森 由美、佑下 明、吉田 由理
タイムキーパー:野田 結祐子
撮影:築地原 芳紀、石川 誠
シンボルマークデザイン:森重 正治



NPO法人FUKUOKAデザインリーグ

NPO法人FUKUOKAデザインリーグ事務局
〒815-0033 福岡市南区大橋1-3-27 九州大学 大橋サテライト ルネット内
TEL:092-551-0825 FAX:092-405-0825

報告書

第2回ユニバーサルキャンプ in 九州

実施:2009.9.26(土)~27(日)(1泊2日)

第2回ユニバーサルキャンプ in 九州

目の前に海が広がる海の中道海浜公園で、
真のユニバーサルデザインとは何か、
年齢や国籍、障がいの有無にかかわらず、
同じ目線に立ち、考え、そして大いに語り合いました。

事前研修 [9月5日(土)実施]

キャンプに参加する目的・意味を明確にし、より多くの気づきを得るための土台づくりとして事前研修を実施しました。ユニバーサル環境を推進するために重要な社会的背景と多様性の理解を深めたり、白杖や車椅子を用いたさまざまな体験実習も行いました。



メインプログラム

1日目 開村式 & マイ箸・コップづくり

ユニバーサルキャンプの始まりは開村式から。みんなで考え、助け合いながらキャンプの成功を誓い合いました。

開村式の後は参加者によるマイ箸・コップづくりです。キャンプ期間中のゴミを減らすため、竹から自分で手作りの箸とコップを使用しました。割箸、紙コップ、紙皿の使用ゼロの実現は、このキャンプの自慢の成果です。

ダイバーシティ・コミュニケーション

誰もが違う、誰もが何かを持っている、みんな違うのだから障がいも特別なことではない。そのようなダイバーシティ(多様性)の視点から他者との違いを知り、その能力に気づき、コミュニケーションや行動を工夫するきっかけをつくります。それがダイバーシティ・コミュニケーションです。キャンプ場内に設置される「音の部屋」では聴覚障がい者が主人となり、音を使わない会話が展開されました。「光の部屋」では視覚障がい者といっしょに視覚に頼らないコミュニケーションを体験しました。ここではどんな質問もOK。健常者にとっても新たな世界が広がりました。



キャンドル作り & BBQ(夕食)

夕方には、廃油を利用したキャンドル作りとライトアップの準備を行いました。キャンプらしいイベントのBBQでは、海に沈んでいく美しい夕日ながら、自由に楽しくコミュニケーションできました。



キャンドルナイト・コンサート & 夜会(自由参加)

夜は灯明やライトアップなどキャンドルナイトを行いました。さらに幻想的なキャンドルによる明かりの中でのサックス演奏など、コンサートも賑わいました。

また自由参加のイベントとして対岸の福岡市の夜景を楽しみながら、お酒を飲み語り合う「夜会」も大いに盛り上がりました。



2日目 自由時間

2日目は自由時間を使い、友達や班の仲間達と海ノ中道公園を楽しみました。園内には、海岸線や散歩コース、水族館など様々な施設があり、志賀島までドライブしたグループもありました。

サンドイッチ・パーティー & 閉村式

キャンプ最後のイベントとして、創意工夫を凝らしたアイデアサンドイッチを作る「サンドイッチ・パーティー」を行いました。

テーブルに盛られたトッピングをパンに挟み、ほおばりながらキャンプの感想やエピソードを語り合う楽しいパーティーとなりました。

閉村式では村長による閉村の言葉と全員での記念撮影を行いました。最後には自分で作った箸や皿、コップをお土産として持ち帰りました。

